

2023年6月9日

プレスリリース

KDDI、ドライブネッツ ネットワーククラウド を導入 – 日本で初めてディスアグリゲーション型 IP インフラストラクチャを導入

日本初の TIP DDBR 準拠 ディスアグリゲーション型 IP インフラストラクチャを導入

イスラエル ラーナナ – 2023年6月9日 – クラウドネイティブ ネットワーキング ソリューションのリーダーであるドライブネッツは、日本のテレコミュニケーション サービス プロバイダである KDDI 株式会社がインターネット ゲートウェイ ピアリング ルーターとしてドライブネッツ ネットワーククラウドの導入に成功したと発表しました。

ドライブネッツ ネットワーククラウドは、KDDI ネットワーク全体にキャリア グレードのピアリング ルーター接続を提供し、ハードウェア要件を大幅に削減し、コストを削減し、イノベーションを加速しながら、KDDI がネットワークとサービスを迅速に拡張できるようにします。今後、追加のアプリケーションがドライブネッツ ネットワーククラウドに展開される予定です。

「日本のサービス プロバイダの多くは、4G および 5G ネットワーク上のネットワーク機能の仮想化を積極的に推進していますが、サービス プロバイダのルーティング インフラストラクチャにおけるソフトウェアとハードウェアのディスアグリゲーションはまだ始まったばかりです」と、ドライブネッツ の共同創業者兼最高経営責任者 (CEO) のイド スーザンは述べています。「当社の ネットワーククラウド ソリューションが革新的な大手サービス プロバイダである KDDI に選ばれ、すでに同社のネットワークに導入され、KDDI の顧客のニーズをサポートしていることを非常に誇りに思います。」

ディスアグリゲーションへのトレンドをリードする

KDDI ネットワーク上でのドライブネッツ ネットワーククラウドの展開は、KDDI での数年間にわたるテストと検証の集大成です。これは、世界中のサービス プロバイダ ネットワークにおけるディスアグリゲーション型アーキテクチャの採用増加を反映しています。

「賢明なサービス プロバイダがイノベーションの迅速化とコスト削減を可能にする新しいテクノロジーを試しているため、ディスアグリゲーション型 ネットワーキング ソリューションへの移行は 2023 年以降も引き続き一般的な傾向となるでしょう。現在、このテクノロジーは AI インフラストラクチャなどの他の大規模 ネットワーキング環境でも採用されています」とスーザン氏は述べています。

単一ベンダーのソフトウェア、ハードウェア、チップで構成される従来のルーターと比較して、TIP DDBR 準拠のソリューションは複数のベンダーのソフトウェアと機器を組み合わせたものが可能となるため、サービス プロバイダはベンダーロックから脱却し、ベンダーの選択肢を増やし、より迅速な拡張や最新のクラウド設計によるサービスの導入を可能にする新しいモデルに移行できます。

<https://drivenets.com/news-and-events/press-release/drivenets-network-cloud-awarded-telecom-infra-project-requirements-compliant-ribbon/>

ドライブネッツ は、KDDI に加えて、すでに北米やアジア太平洋地域の他のサービス プロバイダと協力して、この地域でのディスアグリゲーション型 ネットワーキング ソリューションに対する関心の高まりに応えています。同社は、アジア太平洋地域での活動を強化するため、2021年半ばに東京にも子会社を設立しました。<https://drivenets.com/news-and-events/press-release/drivenets-expands-presence-in-asia-pacific-to-support-the-growing-momentum-of-its-network-cloud/>

ドライブネッツ は、クラウドハイパースケーラーと同様のアーキテクチャ モデルを提供し、ネットワークの経済性の向上とイノベーションの迅速化に貢献いたします。ドライブネッツ ネットワーククラウドには、ドライブネッツ によって認定され、パートナーによって強化された、大手シリコンベンダーおよびオリジナル デザイン メーカー (ODM) の要素を備えたオープンなエコシステムが含まれており、プロバイダのネットワークへのソリューションのシームレスな統合が保証されます。

ドライブネッツ ネットワーククラウド について詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://drivenets.com/products/>

ドライブネットについて

ドライブネットは、クラウドネイティブ ネットワーキング ソフトウェアおよびネットワーク ディスアグリゲーション ソリューションのリーダーです。2015 年末に設立され、イスラエルに拠点を置く ドライブネットは、サービス プロバイダとクラウド プロバイダがネットワークを構築する方法を変革します。ドライブネットのソリューション-ネットワーククラウド-は、クラウドのアーキテクチャおよび経済モデルをキャリアグレードのネットワークに適応させます。ネットワーククラウドは、ホワイトボックスの共有物理インフラストラクチャ上で実行されるクラウドネイティブ ソフトウェアであり、ネットワークの運用を根本的に簡素化し、ネットワークの規模と弾力性を高め、サービスのイノベーションを加速します。ドライブネットは、世界中の Tier 1 通信事業者と Network Cloud の展開を継続しており、3 回の資金調達ラウンドで 5 億 8,700 万ドル以上を調達しています。詳細については、www.drivenets.com をご覧ください。 <http://www.drivenets.com/>

KDDI について

KDDIは、「au」、「UQ mobile」、「povo」をマルチブランドで展開し、5G・IoTサービスなどを国内外の個人・法人の多くのお客さまに提供しています。また中期経営戦略（2022-2024年度）では、5Gによる通信事業の進化と、通信を核とした注力領域を拡大する「サテライトグロース戦略」を推進しています。

具体的な注力領域は、DX（デジタルトランスフォーメーション）、金融、エネルギー、LX（ライフトランスフォーメーション）、地域共創の5つを中心に構成されています。特にDXでは、法人のお客さまに、通信をIoTという形であらゆるものに溶け込ませ、お客さまが意識することなく5Gを活用できる環境を整備し、業界ごとの個別ニーズに応じたビジネスプラットフォームを提供し、お客さまのビジネス創造をサポートします。

さらに、パートナーの皆さまとともに社会の持続的成長と企業価値の向上を目指す「サステナビリティ経営」を中期経営戦略の根幹に置いています。5Gの特性を活かすことにより「つなぐチカラ」を進化させ、新たな価値が生まれる時代を目指していきます。